



# 学校だより

校訓「健康」「自立」「友愛」

北九州市立白銀中学校

校長 梅木 陽一

令和5年5月 No.2

## 授業参観・学年保護者会・学級懇談会

4月22日（土）に授業参観、学級懇談会、PTA 総会、部活動保護者会を実施しました。当日は、休日にも関わらず、多数の保護者の方々に授業の様子を参観いただき、また、その後実施された学級懇談会、PTA 総会、部活動保護者会にご参加いただき、ありがとうございました。

本校職員は、保護者の方々と多くの話ができて、ほっとしているのと同時に、皆様からのご協力に大変感謝しております。保護者の方々と我々教職員が力を合わせ、お子様方の成長に尽力できたと考えております。何か疑問点や確認したいこと等ございましたら、それぞれの担当までご連絡を下さいますようお願いいたします。

## 子ども読書の日



4月24日（月）に子ども読書集会を行いました。図書学習委員が集会を運営し、詩の朗読、生徒のおすすめの本の紹介、先生方のおすすめの本の紹介、図書館の利用、絵本の読み聞かせ等の多彩なプログラムがありました。読書は、本の中にあるものがたりや情景を読みながら、自分自身がその中にいるように感じることができます。図書室には新刊を含め多くの本が置いてあります。ぜひ図書室を活用してください。



※ブックヘルパーの方も募集中です。

## 令和5年度 白銀中学校の取組について

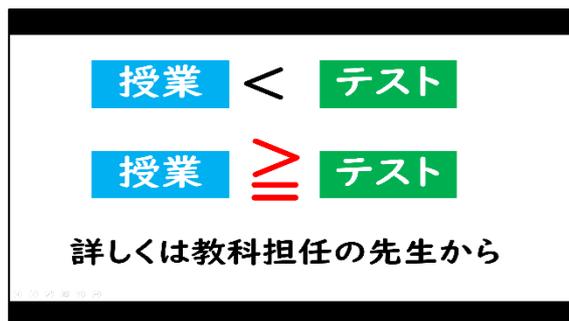
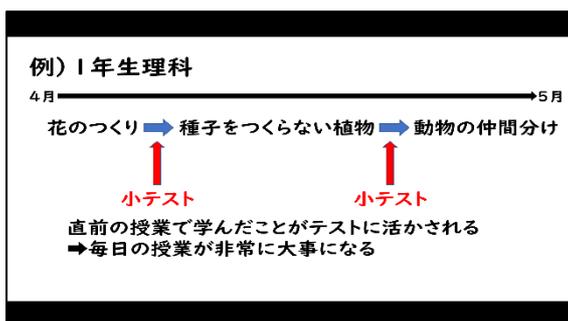
- 前期後期制（2学期制）の継続について（夏休み、冬休みの日数・時期は3学期制と同じ）
  - ・生徒の学習内容の確実な定着を図ります。
  - ・夏休み前、冬休み前に三者面談を実施し、生徒の学習や生活の状況をお伝えします。
  - ・9月に期末考査を実施することで、夏休み中に自主的学習に取り組むようにします。
  - ・学習活動や学校行事等での多様な体験活動を工夫し、主体性が育つ学校生活を目指します。
  - ・子どもと向き合う時間を増やし、一人一人との対話の時間をもちます。
  - ・社会の変化や動きを捉え、新しい教育に取り組めるよう先生の力を高め、研修や授業改善に努めます。上記のような時間を生み出します。
- 白銀中学校区学校運営協議会を継続して取り組みます。
  - ・貴船小、中島小の地域の方と一緒に学校の運営について熟議していきます。
- 学力の向上を継続してめざします。
  - ・3年生の数学・英語を中心に「ひまわり塾」を学校内で実施します。
- 地域、教育委員会と一緒に防災教育などにも取り組みます。
  - ・防災アドバイザー（大学の先生）にもお話していただき、災害が起こった時に、自分の命を守ると同時に地域の方やご家族の方を守れるような知識を身につけてもらいたいと思います。

- 前後期の中間考査を廃止して、各教科で単元末テストや小テストを実施します。各学期期末考査のみの実施となります。

生徒たちにとって、定期考査は「テストの点数を取るだけのもの」または試験範囲のところを「一時的に覚えるもの」に重点がおかれる傾向がありました。定期考査後に理解が足りなかった部分が後から明らかになることもありました。そこで、「学力の定着を図る」ために、単元テストや小テストを行い、いち早く生徒のつまずきに対応できるようにしたいと考えました。

そして、先生方としても生徒がどれくらい理解して知識を定着させているのかをいち早くキャッチし授業改善に生かすことができます。

このようにして、小テストや単元テストを通して、基礎学力の定着を確実にしていきたいと考えています。



また、年2回の前後期期末考査では、小テストや単元テストで基礎学力を定着した内容をもとに、活用する力や自分の考えをアウトプットできるようにして、総合的な学力の定着を目指していきたいと思ひます。

- 本校では、学習評価の時期（通知表をお渡しする時期）を前期、後期に分け、前期を10月（評価期間は4～10月）、後期を3月（評価期間は1年間）としています。

なお、総合的な学習の時間の記録や行動の状況等を含めた「通知表」（道徳は後期に記載）は、前期授業日数を学校で統一する必要があることから、全学年10月13日（金）にお渡しいたします。

- 評価・評定について

2021年度から学習指導要領の改訂により、各教科の観点別評価が4観点（国語は5観点）から3観点に変更されました。

| 教科名   |          |               |
|-------|----------|---------------|
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| A     | B        | C             |

3つの観点については、これまで通り以下のABCで評価します。

- A・・・「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B・・・「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C・・・「努力を要する」状況と判断されるもの

評価の判断する方法は「令和5年度 各教科の学習評価について」を配布していますのでご覧ください。

※評価は、テストだけに限らず、ノートのとめ方、振り返りシートやレポートの内容、話し合い活動、ワークシート、教師による行動観察等 どのように学習に臨んでいるか、粘り強く取り組んでいるか、自己分析ができていかなどが評価され、5段階に反映します。（各教科の評価基準参照）